

現代ライフ学部 児童学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下C・P）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実など、教育方法に工夫を重ねながら、教育内容の向上に取り組んでいます。また、大学全体として、全学部生が共通して履修する必修科目、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」においては、少人数教育を実践しています。セミナー担当教員は、各学部・学科・コースのC・Pに基づく学修指導の他、学生生活全般にわたる指導を行っています。これにより学生は、社会人として求められる常識や教養等の汎用的能力と、各自の専攻分野や関心領域に関わる幅広い知識をバランス良く身につけることができます。この「セミナー」は、キャリア教育の一環として、学生の様々な相談にも応じています。

【教育方法】

児童に関する学びの基礎となる科目「児童学」を配置しています。また、小学校、特別支援学校、幼稚園の教員免許及び保育士資格に関する科目を幅広く設置し、現代の子どもの理解と子どもの教育、保育についての理論と実践に関する科目を設けています。少人数制クラスのセミナーにおいては、初年次から継続して進路に関する情報提供や個別の指導を行っています。

【教育の特色ある工夫】

小学校・特別支援コース

- ・学生がこれからの教員に求められる資質を理解し、自らの教員としての適格性を把握するための機会として、中野区、豊島区との包括協定、市原市教育委員会との協定に基づき、1年次に「学校インターンシップ」を設けています。
- ・教育について深く理解し、実際の生活に活かすことができる力を育成するために、グループ活動、プレゼンテーション、模擬授業等を積極的に取り入れています。
- ・教職実践演習においては、中野区教育委員会等との連携に基づき、現職教員を招いて講義・演習を実施しています。また、小学校を訪問し、授業観察した後、現職教諭とともに意見交換を行い、授業技術を高める機会を設けています。
- ・各教科教育法の講義の中で、特別支援教育における支援や配慮の観点を踏まえた指導案作成や模擬授業の実践に取り組んでいます。

保育・幼稚園コース

- ・本コースは保育士養成施設として指定されており、保育士資格取得を目指しています。そのため、1・2年次はコミュニケーション能力や表現力、基礎的な保育技術・能力を養うことを重視し、3・4年次は実習を通して、保育者としての資質・能力を養っています。
- ・1年次から地域との連携活動や保育現場でのボランティア活動を重視し、各科目とセミナーとを連携させて学生指導を充実させています。
- ・保育・教育実習での学修とは異なる視点から、個々の学生が意欲的に学び、体験を広げるよう学生の能動的な活動を引き出しています。
- ・学内で実施している子育て広場「プリプリキッズ・ユニバ」に、「児童研究Ⅰ・Ⅱ」を履修する学生がスタッフとして参加し、乳幼児や保護者と関わる体験から乳幼児に対する理解を深め、保育者の役割や子育て支援について具体的に学びを深めています。これらを通して、学生自らが乳幼児期の保育・教育に関する研究課題を設定し、追究することで、将来保育・幼児教育界でリーダーシップを発揮できるような人材の育成を目指しています。